



札幌市

札幌市国民健康保険 保健事業プラン2018 (概要版)

中間
評価
報告書

令和3年3月
札幌市保健福祉局保険医療部



札幌市の概要

- ① 少子高齢化が進展している。
- ② 全国と比べると、男女ともに健康寿命がやや短い。
- ③ 腎不全のSMR（標準化死亡比）が高い。
- ④ がん（悪性新生物）や生活習慣病（心疾患・脳血管疾患）で亡くなる方が多い。

① 人口動態



② 平均寿命と健康寿命



※国民生活基礎調査(厚生労働省)「日常生活に制限のない者の割合」を用いて算出

出典:

札幌市:国勢調査(H27)

人口動態統計(H27)

国民生活基礎調査(H28)

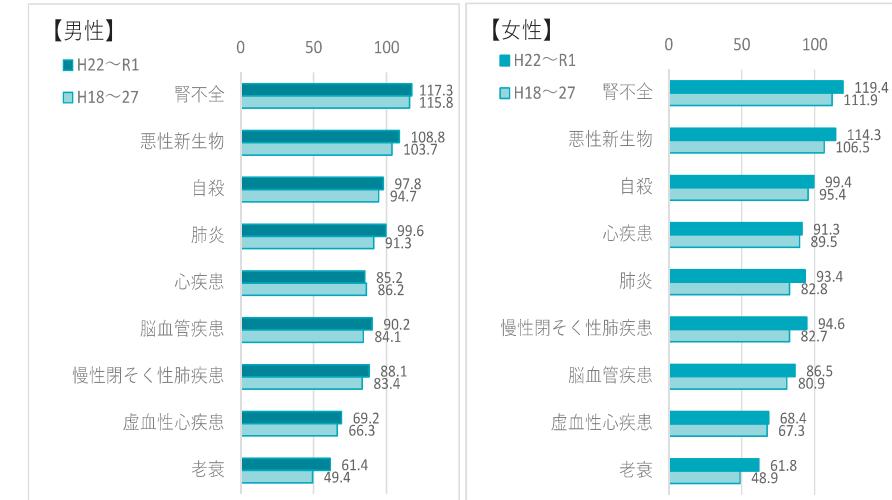
厚生労働科学「健康寿命研究」

北海道:平均寿命は北海道保健統計年報(H27)

健康寿命は厚生労働省(H27)

全国:厚生労働省(H28)

③ 主要死因の男女別標準化死亡比



出典:公益財団法人北海道健康づくり財団 北海道における主要死因の概要9 H18~H27

公益財団法人北海道健康づくり財団 北海道における主要死因の概要10 H22~R1

④ 死因(H30年度、死亡総数19,343人)

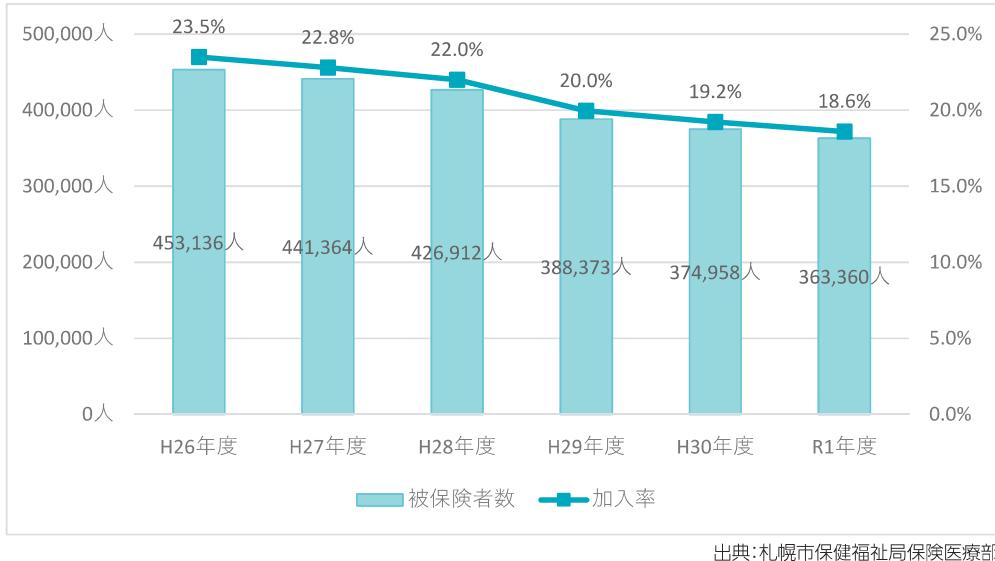
1位	2位	3位	4位	5位
悪性新生物 (6,115人)	心疾患 (2,540人)	脳血管疾患 (1,418人)	肺炎 (1,348人)	老衰 (1,019人)

出典:札幌市統計書

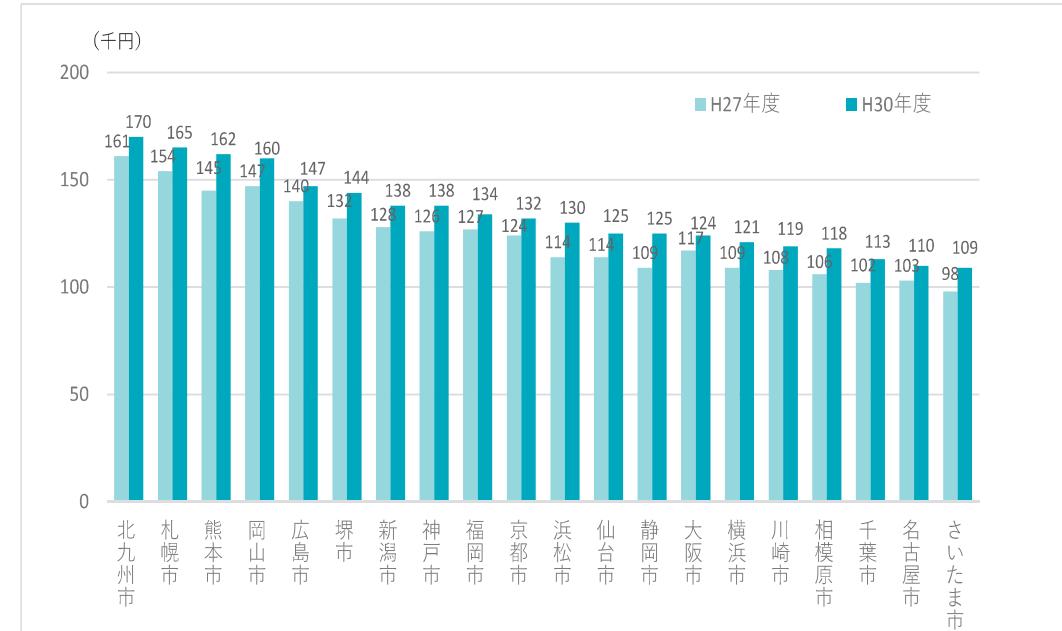
札幌市国民健康保険の現状

- ① 被保険者は減っている。
- ② 全体に占める前期高齢者(65歳~74歳)の割合は46.2%と高い。
- ③ 一人当たり入院医療費は政令指定都市中2番目に高い。

① 被保険者数



③ 一人当たり入院医療費



② 年齢構成

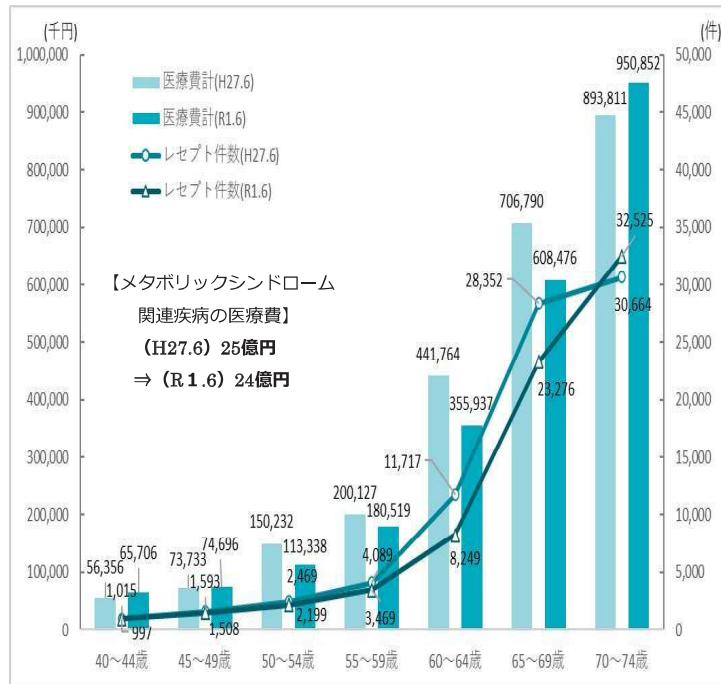
	0-64歳	65-74歳	計
人数	195,583	167,777	363,360
割合	53.8%	46.2%	100.0%

出典:札幌市保健福祉局保険医療部

生活習慣病の状況

- ① 生活習慣病の医療費は、年齢が上がるにつれて増加している。
- ② 医療費が高額となる疾患では、糖尿病・高血圧症・慢性腎臓病(透析あり)が上位を占める。
- ③ およそ5人に1人が**慢性腎臓病**のリスクがある。

① メタボリックシンドローム 関連疾病の医療費

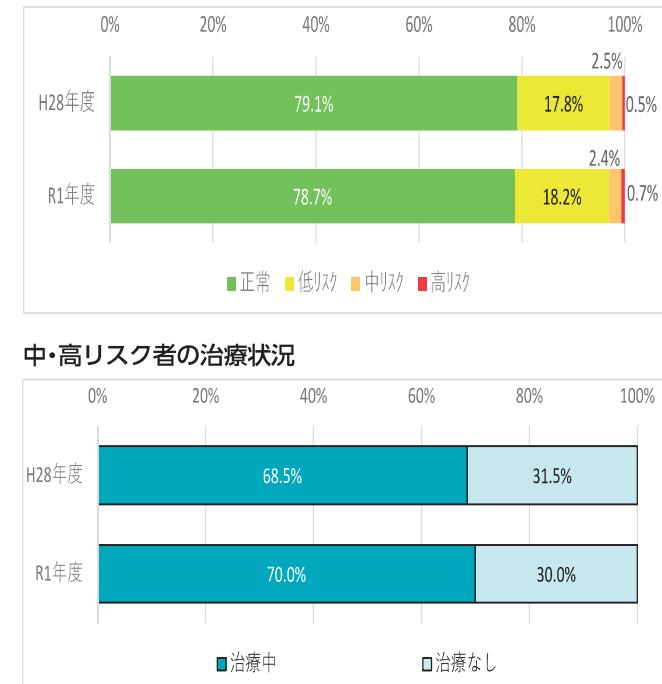


② 40歳~74歳の上位10疾患 (総医療費に占める割合)

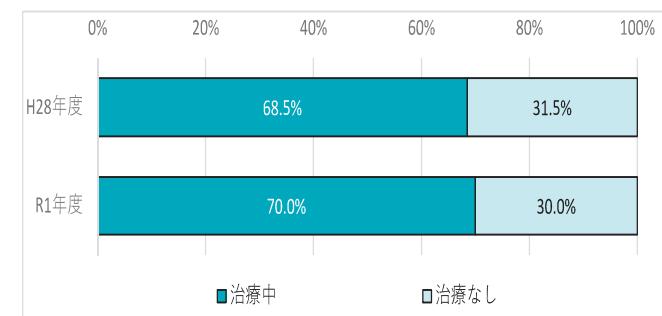
順位	H28年度		R1年度	
	疾患	割合	疾患	割合
1	統合失調症	5.7%	糖尿病	4.5%
2	糖尿病	5.0%	関節疾患	4.4%
3	関節疾患	4.1%	統合失調症	4.1%
4	高血圧症	4.1%	肺がん	3.4%
5	慢性腎臓病(透析あり)	3.3%	高血圧症	3.0%
6	肺がん	2.6%	不整脈	2.6%
7	うつ病	2.6%	慢性腎臓病(透析あり)	2.5%
8	脂質異常症	2.6%	大腸がん	2.4%
9	狭心症	2.5%	脂質異常症	2.2%
10	大腸がん	2.4%	うつ病	2.2%
合計	34.9%	合計	31.3%	

出典:KDB帳票No40 医療費分析(1)細小分類csv

③ 慢性腎臓病のリスク分布



中・高リスク者の治療状況



※「治療中」とは、特定健診受診時の質問票において、高血圧症・糖尿病・脂質異常症のいずれかについて「服薬治療あり」と回答した者

特定健診の評価①

- ① 受診率は低迷している。
- ② 男性の受診率は低く、高齢者の受診率は高い。
- ③ 全国と比べると大きく下回っている。

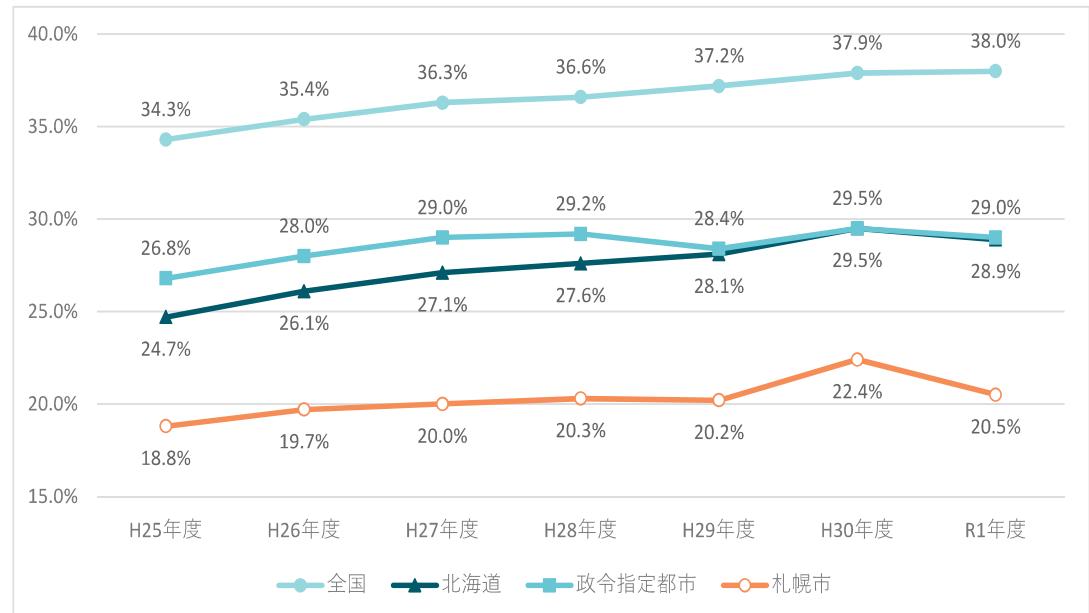
評価

△ 特定健診の受診率は一時期向上したものの、目標値には届いていない。

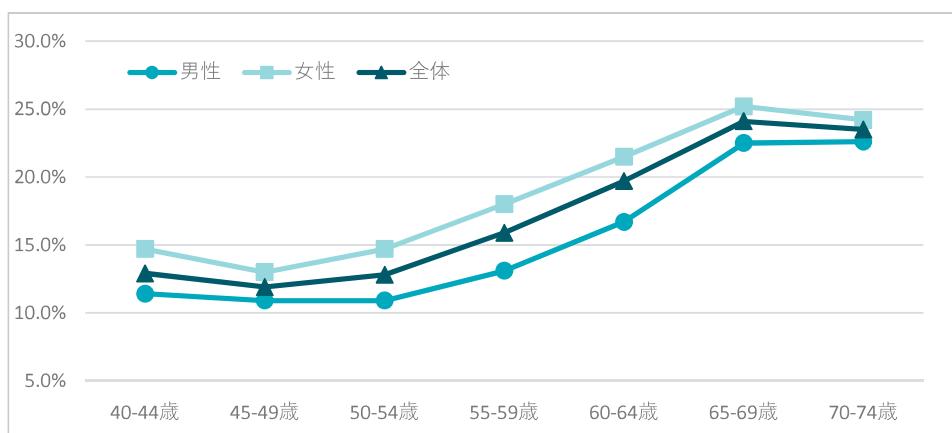
① 目標値と受診率

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
目標値	23.5%	25.0%	26.5%	28.0%	29.5%	31.0%
受診率	22.4%	20.5%				

③ 全国・北海道・政令指定都市との受診率の比較



② 男女別年齢別受診率



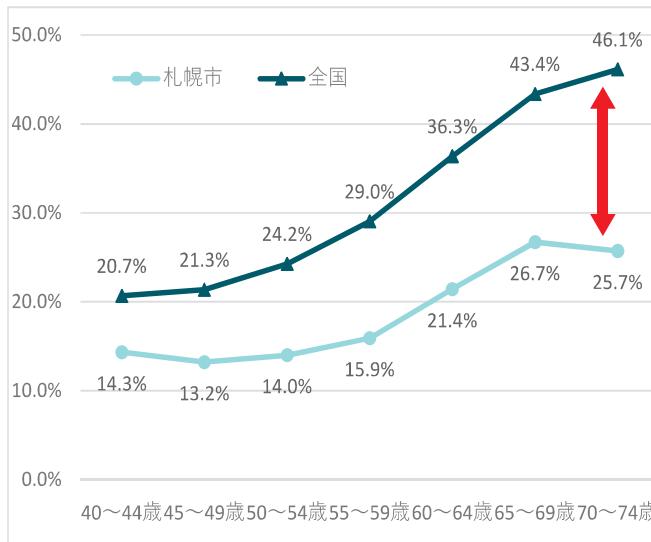
出典:札幌市国保特定健診特定保健指導法定報告(令和元年度)

出典:全国 北海道:国民健康保険中央会 政令指定都市:政令指定都市のとりまとめ
札幌市:札幌市国保特定健診特定保健指導法定報告

特定健診の評価②

- ① 全国と比べると、高齢者の受診率の差が大きい。
- ② 全国と比べると、通院中の方の健診受診が少ない。
- ③ メタボ該当者は増加傾向にある。

① 年齢別受診率



② 通院と健診受診の関係

		札幌市	全国
通院中	健診受診	20.2%	35.1%
	健診未受診	62.4%	49.1%
通院なし	健診受診	1.7%	2.3%
	健診未受診	15.7%	13.5%
計		100%	100%

③ メタボ該当者及び予備群の割合



出典:市町村国保 特定健康診査等実施状況
平成30年度(国民健康保険中央会)

出典:北海道国民健康保険団体連合会 平成30年度

出典:市町村国保 特定健康診査等実施状況(国民健康保険中央会)

特定保健指導の評価

- ① 実施率は伸びている。
- ② 全国と比べると大きく下回っている。
- ③ 改善率は減少傾向だが、北海道・全国に比べて高い

評価



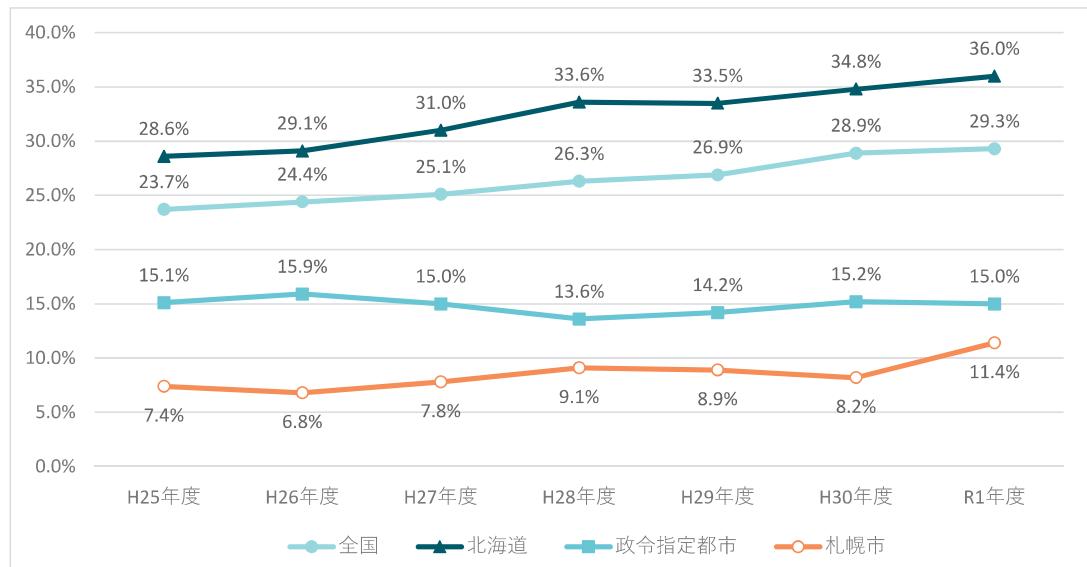
特定保健指導の実施率は、上昇傾向にあるものの、目標値には届いていない。

① 目標値と実施率

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
目標値	実施率	13.0%	15.0%	17.0%	19.0%	21.0%	23.0%
動機付け支援	実施率	9.2%	13.1%				
積極的支援	実施率	4.2%	5.1%				
合計	実施率	8.2%	11.4%				

出典:札幌市国保特定健診特定保健指導法定報告

② 全国・北海道・政令指定都市との受診率の比較



出典:全国・北海道:国民健康保険中央会・政令指定都市:政令指定都市のとりまとめ
札幌市:札幌市国保特定健診特定保健指導法定報告

③ 改善率

	札幌市	北海道	全国
H25年度	28.1%	23.2%	24.1%
H26年度	29.9%	23.7%	23.7%
H27年度	26.0%	22.2%	23.3%
H28年度	24.5%	20.3%	22.3%
H29年度	24.6%	20.9%	21.7%
H30年度	25.0%	19.8%	21.3%
R1年度	22.2%		

※特定保健指導対象者の改善率とは、前年度と当該年度の健診を2年連続して受診した人で、前年度に特定保健指導を利用し、当該年度の健診結果が改善して特定保健指導対象外となった人の割合

出典 札幌市については札幌市国保特定健診特定保健指導法定報告
北海道・全国については国民健康保険中央会

生活習慣病重症化予防対象者の評価

- 高血圧症、メタボリックシンドロームの割合が増加している。

評価

△ 重症化予防対象者の割合は減少には至っていない。

① 目標値と重症化予防対象者の割合

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
目標値	27.9% (H28年度) より減少させる						
重症化予防対象者の割合	27.2%	28.0%	28.4%				

② 特定健診受診者の重症化予防対象者の内訳

	重症化予防対象基準値	H28年度		H29年度		H30年度		R1年度	
		対象者数	割合	対象者数	割合	対象者数	割合	対象者数	割合
高血圧症	Ⅱ度高血圧以上	2,963	4.8%	3,023	5.0%	3,261	5.1%	3,080	5.3%
心房細動	心房細動	403	0.8%	360	0.7%	386	0.7%	332	0.7%
脂質異常症 (LDL-C)	LDL-C180mg/dl 以上	3,633	5.9%	3,216	5.4%	3,970	6.3%	3,497	6.1%
脂質異常症 (中性脂肪)	中性脂肪 300mg/dl 以上	1,670	2.7%	1,628	2.7%	1,700	2.7%	1,606	2.8%
メタボリックシンドローム	メタボ該当者 (2 項目以上)	8,768	14.2%	8,745	14.6%	9,416	14.9%	8,820	15.3%
糖尿病	HbA1c(NGSP)6.5%以上 (治療中 7.0 以上)	2,467	4.0%	2,662	4.4%	2,566	4.0%	2,150	3.7%
慢性腎臓病 (尿蛋白)	尿蛋白(2+)以上	690	1.1%	662	1.1%	699	1.1%	582	1.0%
慢性腎臓病 (eGFR)	eGFR45未満	781	1.5%	771	1.5%	862	1.5%	845	1.5%
重症化予防対象者実人数・割合		16,985	27.9%	16,310	27.2%	17,793	28.0%	16,371	28.4%

保健事業の評価①

事業名	事業内容	実績(R1年度)	評価
特定健診受診・未受診者勧奨事業	<ul style="list-style-type: none"> 受診券の送付方法を世帯単位から個人単位に変更 AI及びナッジ理論を活用したDM 受診率の高い連合町内会等(10地区)を表彰 	<ul style="list-style-type: none"> DMを送った方(148,034通)の10.7%が健診を受診した。 	<ul style="list-style-type: none"> AI等を活用したDMは効果的であった。 他市と比べて65歳以上の受診率が低い。通院中の方が健診を受けることが少ないと考えられる。
地域連携特定健診等受診率向上事業	<ul style="list-style-type: none"> 地域と連携した普及啓発・夜間健診・休日健診等の実施 健診結果説明会等開催による健康教育・保健指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 住民集団健診を受診した方が18,522人に増えた(前年度比8.7%増)。 	<ul style="list-style-type: none"> DMの効果や会場数の増加もあり、住民集団健診の受診者数は増えている。 夜間健診や休日健診については、職員の事務負担が大きいことや新型コロナウイルスの影響もあり、実績は低い。
特定保健指導利用・未利用者勧奨事業	<p>(ア) 未利用者勧奨事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定保健指導未利用者に対して、毎月文書及び電話等にて勧奨を実施。 	<p>(ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定保健指導未利用者6,447人のうち3,177人に利用勧奨を行ったところ、勧奨後の利用率は2.7%(85人)だった。 	<p>(ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業を中止した影響を受けた。 64歳以下の勧奨後の利用率が低い。未利用理由では、自分なりに健康づくりに取り組んでいることや多忙が上位に挙がっている。
	<p>(イ) 運動お試し券事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定保健指導利用者及び特定保健指導新規対象者に対して、特定保健指導利用促進と運動習慣定着のきっかけづくりとして、運動施設での指導が体験できる「運動お試し券」を配布。 	<p>(イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定保健指導利用者781人に1人につき3枚、計2,343枚を配布したところ、利用率は15.7% (123人) だった。 特定保健指導新規対象者3,880人に1人につき1枚を配布したところ、利用率は1.3% (52人) だった。 	<p>(イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者は運動習慣の見直しや運動継続のきっかけになり、運動定着の一定の効果があった。 利用率が低迷している要因として、指定運動施設が少ない(R1は12施設)が挙げられる。

保健事業の評価②

事業名	事業内容	実績(R1年度)	評価
特定保健指導対象者 重症化予防事業	<p>特定健診において、質問票に「服薬治療なし」と記載があり、以下の受診勧奨判定値となった特定保健指導対象者で、まだ特定保健指導を利用していない者に対して、特定保健指導の利用勧奨と併せて訪問・電話・文書送付により適切な治療の必要性を指導し、医療機関の受診を勧奨する。</p> <p>対象者：①Ⅱ度高血圧以上 ②尿蛋白2+以上 ③心電図心房細動所見 ④HbA1c 6.5 以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> 364人に対して受診勧奨を行ったところ、勧奨後の受診率は24.7%(90人)だった。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響のない平成29年度及び平成30年度は電話・訪問勧奨による受診率が高く、対面等で指導できる方法が効果的であった。 令和元年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業延期や受診控えの影響を一部受けたが、受診率は向上した。
特定保健指導非対象者 重症化予防事業 (健診フォローアップ事業)	<p>特定健診において、質問票に「服薬治療なし」と記載があり、腹囲・BMIは基準値内であるが、以下の受診勧奨判定値となった項目がある者に対して訪問・電話・文書送付により適切な治療の必要性を指導し、医療機関の受診を勧奨する。</p> <p>対象者：①Ⅱ度高血圧以上 ②尿蛋白2+以上 ③心電図心房細動</p>	<ul style="list-style-type: none"> 292人に対して受診勧奨を行ったところ、勧奨後の受診率は15.8%(46人)だった。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響のない平成29年度及び平成30年度は電話・訪問勧奨による受診率が高く、対面等で指導できる方法が効果的であった。 令和元年度は新型コロナウイルスの影響を一部受けているが、なかでも高血圧の受診率が14.7%(平成30年度32.8%)まで大幅に減少した。
特定保健指導非対象者 重症化予防事業 (元気アップ応援事業)	<p>服薬中のために特定保健指導の対象とならない、以下の基準該当者に対して訪問・電話・文書送付により事業への参加を勧奨する。参加希望者に対し、主治医と連携して特定保健指導(積極的支援)に準じた保健指導を実施する。</p> <p>対象者：①Ⅱ度高血圧以上 ②LDLコレステロール 180 mg/dl以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> 746人に利用案内を送付したところ、10人(1.3%)から希望申し込みがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者のうち約9割は、保健指導により食生活や身体活動等が改善したと回答しており、保健指導による行動変容の成果が確認されている。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月以降の利用案内送付を中止しており、参加者数に影響を受けた。
糖尿病性腎症重症化 予防事業	<p>特定保健指導対象者を除く下記の基準該当者に対して、 (ア) 対象者に対して訪問・電話・文書送付により事業への参加を勧奨する。参加希望者に対し、主治医と連携して特定保健指導(積極的支援)に準じた保健指導を実施する (イ) 対象者に対して、訪問・電話・文書送付により適切な治療の必要性を指導し、医療機関の受診を勧奨する。</p> <p>対象者 (ア) 糖尿病治療中 : HbA1c 7.0 以上 (イ) 糖尿病未治療 : HbA1c 6.5 以上 (H30年2月開始)</p>	<p>(ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> 557人に利用案内を送付したところ、11人(2.0%)から希望申し込みがあった。 <p>(イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 78人に対して受診勧奨を行ったところ、勧奨後の受診率は23.1%(18人)だった。 	<p>(ア) 参加者のうち約6割は、保健指導により食生活や身体活動等が改善したと回答しており、保健指導による行動変容の成果が確認されている。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月以降の利用案内送付を中止しており、参加者数に影響を受けた。</p> <p>(イ) 新型コロナウイルスの影響のない平成29年度及び平成30年度は電話・訪問勧奨による受診率が高く、対面等で指導できる方法が効果的であった。</p>

健康課題

- ① 健診を受けず、自分の健康状態を把握していない人が多い。
- ② メタボリックシンドロームのリスクがある人が多い。
- ③ 生活習慣病の重症化予防対象者が、適切な治療につながっていない。
- ④ 医療と介護の両方を必要とする予防可能な疾患として、脳血管疾患と虚血性心疾患が多い。
- ⑤ 慢性腎臓病の状態を知らずに悪化させている人が多くいる可能性がある。

目的

被保険者の生活習慣病の発症及び重症化を予防し、生活の質(QOL)の低下を防ぎ医療費の適正化を図る。



短期目標

目的	指標	目標値 (R5年度)
特定健診の受診率の向上	特定健診受診率	31.0%
特定保健指導の実施率の向上	特定保健指導実施率	23.0%
特定健診の結果、重症化予防の対象となる人の割合を減らす	重症化予防の対象となる人の割合	減少させる

保健事業の見直しについて

事業名	主な見直し内容
特定健診受診・未受診者勧奨事業	<ul style="list-style-type: none"> ・DMは継続する。 ・通院中の方への受診勧奨に力を入れる。
地域連携特定健診等受診率向上事業	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングの専門家等の知見を活用する。
特定保健指導利用・未利用者勧奨事業	<ul style="list-style-type: none"> ・未利用者勧奨事業：ナッジ理論の活用などにより利用勧奨効果を高める。 ・運動お試し券事業：特定保健指導利用促進につながる新たなインセンティブ事業について検討する。
特定保健指導対象者重症化予防事業	<ul style="list-style-type: none"> ・勧奨効果を高めるための指導内容について改善する。
特定保健指導非対象者重症化予防事業 (健診フォローアップ事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・勧奨効果を高めるための指導内容について改善する。なかでも高血圧の受診率増加に向けた取組について改善する。
特定保健指導非対象者重症化予防事業 (元気アップ応援事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者数を増やすため、特定健診実施医療機関等に対して本事業の周知を行う。
糖尿病性腎症重症化予防事業	<ul style="list-style-type: none"> ・勧奨効果を高めるための指導内容について改善する。 ・新たに「糖尿病治療中断者への受診勧奨」の実施を検討する。